

# 14 麻酔科

連絡先:075-751-4590(外来受付)

## ■診療科の特徴



麻酔科診療科長  
福田 和彦

- 1)手術部、デイ・サージャリー診療部における手術の麻酔管理
- 2)難治性疼痛に対するペインクリニック(疼痛緩和医療)

## ■代表的診療対象疾患(ペインクリニック)

帯状疱疹の急性期痛、帯状疱疹後神経痛、癌性疼痛、三叉神経痛、非定型顔面痛、複合性局所疼痛症候群1型(反射性交感神経性萎縮症)、同2型(カウザルギー)、腰下肢痛、手術後疼痛症候群、視床症候群、幻肢痛、肋間神経痛、閉塞性動脈硬化症、難治性皮膚潰瘍

## ■診療体制と実績(ペインクリニック)

### 1)外来診療体制と実績

外来棟4階の南東にある処置室と一体となったエリアで、月、水、金曜日の週3日、4名のスタッフが交代で診療を行っている(各曜日を3-4名で担当)。診療は、原則として予約制である。手術部で麻酔科管理の手術を予定している外来患者に対する麻酔科へのコンサルトも当外来で対応している。

平成22年度の初診患者数は305人、1日あたりの外来患者数は約50-70人である。

X線透視を必要とする神経ブロックは、放射線部の清潔透視室で月、金曜日の午後に予約制で施行している。X線透視下の神経ブロックについては、入院のうえ、経過観察を行うこともある。

### ●表1 主な疾患別外来新患数(平成22年度)(人)

帯状疱疹の急性期痛・帯状疱疹後神経痛	54
手術後疼痛症候群	43
腰下肢痛	46
癌性疼痛	18
三叉神経痛・非定型顔面痛	8
複合性局所疼痛症候群	8

### 2)入院診療体制と実績

南病棟8階(眼科・麻酔科)に3床のペインクリニック患者用の入院ベッドを有する。

平成22年度の入院患者数は22人であった。

### ●表2 疾患別入院患者数(平成22年度)(人)

腰下肢痛	15
複合性局所疼痛症候群	2
他	5
計	22

## ■診療内容の特徴と治療実績

### 1)麻酔管理

手術部、デイ・サージャリー診療部(DSU)における手術の麻酔管理を行っている。また、DSUにおいて、修正型電気痙攣療法(精神科)の麻酔管理や中心静脈カテーテル・硬膜外カテーテルの留置も行っている。

手術部、DSUにおける麻酔の記録は、電子麻酔記録システムで行っている。また、平成20年より手術患者のモニターシステムおよび全身麻酔器を最新のものに更新している。

麻酔科管理症例数は、年々増加している。



図1 全身麻酔の導入

### ●表3 麻酔科管理患者数(平成22年度)

手術部	4,269(+113)
DSU	1,415(+93)
他	24(+10)
計	5,708(+216)

( )内は前年度比

開胸、開腹、下肢の手術では、全身麻酔に加えて硬膜外麻酔も併用し、術後は硬膜外カテーテルから局所麻酔

薬やオピオイドを精密持続注入することにより術後鎮痛にも利用している。

持続硬膜外ブロックによる術後鎮痛が施行できないケースでは、患者自己調節鎮痛法(PCA)を併用したオピオイドの持続静脈内投与による術後鎮痛も施行している。

DSUでは、全身麻酔症例の術後鎮痛のため、超音波ガイド下での神経ブロックを併用している。肩の手術に対しては腕神経叢ブロック、膝の手術に対しては大腿神経ブロック、乳腺の手術に対しては胸部傍脊椎ブロックを施行している。



図2 超音波ガイド下の中心静脈穿刺

2)ペインクリニック

一般的な鎮痛薬で緩和が得られない疼痛に対し、神経ブロック(局所麻酔薬、神経破壊薬、高周波熱凝固によるもの)、理学療法(近赤外線照射療法、低周波刺激療法)、薬物療法(イオントフォレーシスによる経皮的投与方法を含む)を組み合わせることにより、緩和をはかっている。薬物の選択に際して、作用機序の異なる薬剤を少量静脈内投与して効果を判定するドラッグチャレンジテストも施行している。薬剤部のご協力により、院内特殊製剤として10%リドカインゲルも使用している。

当科の外来で施行している検査として、サーモグラフィ検査、電流知覚閾値検査(ニューロメーター™)、知覚・痛覚定量分析検査(ペインビジョン™)がある。

入院患者に対しては、個々の痛みに対応するために、患者自己調節鎮痛法(PCA)による疼痛緩和も導入している。

透視下神経ブロックでは、407件中179件(44%)で高周波熱凝固法(パルス式を含む)を用いている。

癌性疼痛に対しては、院内のがんサポートチームが対応しているが、ペインクリニックからも2名のスタッフがチームに参加している。

無痛分娩については、通常分娩によるストレスが母体にリスクとなりうる疾患を合併しているケースを対

象として産科と協力して行っている。平成22年度は、8件の硬膜外無痛分娩を施行した。

●表4 主な透視下神経ブロックの件数(平成22年度)

椎間関節ブロック・後枝内側枝ブロック	157
神経根ブロック	142
腰部交感神経節ブロック	44
下顎神経ブロック	13
腹腔神経叢ブロック	2
下腸間膜動脈神経叢ブロック	2
硬膜外刺激電極	2
クモ膜下カテーテル埋込	5
他	40
計	407



図3 麻酔科ペインクリニック外来受付